

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：宇治田原町

プロジェクト名	幸せを実感できる健康・福祉サービスの充実プロジェクト		実施期間	平成27年度～	テーマ	その他（健康・福祉サービスの充実）	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>本町においても着実に高齢者人口が増加しており、老人医療費や介護給付費の増加が予想されるほか、障がい者やその保護者が高齢化することへの対応や、障がい者が自立して社会参加できる環境づくりが求められている。 また、近年増加傾向にある発達障がい児等の健やかな育成に対するニーズも増えてきている。 このような中、今後、高齢者や障がい者等が健康で安心して生活できるような地域福祉サービスの充実が必要となっている。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<p>高齢者、障がい者など、町に住む全ての人が健康で生きがいを持って安心して生活できるよう健康・福祉サービスの充実を推進する。 そのため、元気な高齢者がいきいきと生活できるための施策や、障がい者が自立して社会参加できるような支援、発達障がい児の健やかな成長のための指導等の充実に積極的に取り組む。</p>							
	総事業費（千円）	34,549	本年度事業費（千円）	34,549	交付金額（千円）	6,790		
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	福祉バス運行事業	交付対象事業	高齢者や障がい者等の日常的な交通手段を確保するため、町内巡回バスを運行する。			<ul style="list-style-type: none"> <li>○福祉バスの運行</li> <li>・運行日：月曜日から金曜日（祝日、8/14～16、12/28～1/4を除く）</li> <li>・運行経路及び運行便数                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①禅定寺～銘城台（11便/日）②立川～銘城台（13便/日）</li> <li>③高尾（6便/日・週2回）</li> </ul> </li> <li>・27年度利用者数 14,923人（前年度比+670人）</li> </ul>		
	高齢者地域生活支援事業	交付対象事業	介護タクシー利用料や介護サービス診断書作成料に対する補助を行い、高齢者の在宅生活を支援する。			<ul style="list-style-type: none"> <li>○介護タクシー利用料助成</li> <li>・助成件数：2件</li> <li>○共通診断書作成料助成</li> <li>・助成件数：30件</li> </ul>		
	障がい者のための交通支援事業	交付対象事業	障がい者のタクシー利用料や各種施設への通所交通費の一部を助成し、社会参加の促進を図る。			<ul style="list-style-type: none"> <li>○福祉タクシー利用券助成</li> <li>・助成件数：138人に対し160冊を交付</li> <li>○障がい者施設通所交通費助成</li> <li>・助成人数：                             <ul style="list-style-type: none"> <li>上半期分 11人</li> <li>下半期分 14人</li> </ul> </li> </ul>		
	療育教室運営事業	関連事業	療育教室を運営し、発達障がい児の早期発見及び適切な指導による障がいの進行防止を図る。			<ul style="list-style-type: none"> <li>○発達支援と児童福祉の向上を図ることを目的とした療育教室を開催</li> <li>・年42回実施</li> <li>・延べ156人参加</li> </ul>		
	町社会福祉協議会補助事業	交付対象事業	ボランティア活動支援のための専門職員を社会福祉協議会内に配置し、地域福祉を推進するボランティアの育成を行う。			○社会福祉協議会にボランティアコーディネーター1名を通年配置		

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：宇治田原町

住民協働事業	高齢者福祉サービス事業	交付対象事業	高齢者が安心して生活を送るための各種支援を福祉関連団体と連携して実施。	○各種高齢者福祉サービスの実施 ・食の自立支援事業 8,095食 ・緊急通報装置貸与事業 52台 ・移送サービス事業 135件 ・介護用品購入助成事業 151件 他	
	シルバー人材センター運営補助事業	交付対象事業	シルバー人材センターの円滑な運営を促進するため、センター運営に対する補助を行う。	○シルバー人材センターの運営に対する補助を実施  ※シルバー人材センターの活動実績 ・受託件数：701件 ・受託金額：39,120,288円 ・就業日数：7,780人／日 ・会員数：116人（平成28年3月末現在）	
	介護職員初任者（ホームヘルパー）養成事業	交付対象事業	訪問介護事業における人材確保のため、介護職員初任者資格の取得費用に対する助成を行う。	○介護職員初任者資格（旧ホームヘルパー2級）の取得に係る費用の一部を助成 ・助成件数：0件（27年度実績なし）	
	障がい者地域生活移行支援事業所運営支援事業	関連事業	障がい者福祉サービスを提供する事業所に対する支援（施設整備のための借入金に対する補助）。	○社会福祉法人の障がい者地域生活移行支援事業所整備に対する補助を実施	
成果指標①	成果指標の目標数値	・福祉バス利用者数：14,253人以上（H26年度） ・老人福祉センター「やすらぎ荘」利用者数：8,353人以上（H26年度）		成果指標の実績値 （○年○月○日時点）	・福祉バス利用者数：14,923人（H27年度） ・老人福祉センター「やすらぎ荘」利用者数：8,711人（H27年度）
	成果指標の達成状況	◎	（左の理由）	利用者増加を目的とした福祉バスクイズの実施や26年度に実施したやすらぎ荘の風呂改修等の効果もあり、利用者数は目標を達成することができた。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）
成果指標②	成果指標の目標数値	・緊急通報装置貸与数：52件以上（H26年度末）		成果指標の実績値 （○年○月○日時点）	・緊急通報装置貸与数：52件（H27年度末）
	成果指標の達成状況	○	（左の理由）	緊急通報装置の貸与件数は前年度と同数となったが、移送サービスや介護用品購入助成などを含む高齢者福祉サービス全体では利用者数及び利用件数は順調に推移し、高齢者福祉の増進につなげることができた。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	福祉バスの運行や高齢者福祉サービスの充実、障がい児や障がい者に対する各種支援などの施策を実施し、高齢者や障がい者等が安心していきいきと暮らせる環境づくりにつなげることができた。 ただし、介護職員初任者（ホームヘルパー）養成については、今年度想定していた事業実績が挙げられなかったため、引き続き成果が出るように取り組んでいきたい。				
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。				

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：宇治田原町

本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	みらい戦略一括交付金を活用した事業と町の単独事業等とを組み合わせ、プロジェクトとして一体的に推進することで、高齢者や障がい者等が健康で安心して生活できるような地域福祉サービス充実の成果を効果的に挙げる事ができた。
	府と市町村等との連携に資する成果	
	住民の自治意識を高める成果	社会福祉協議会にボランティアコーディネーターを配置することで、住民のボランティア参加の促進につながっている。
	リーディング・モデル成果	
	広域的波及成果	町が運営を支援する障がい者地域生活移行支援事業所は、府南部市町村の障がい者の受け入れも行っており、広域的な障がい者福祉の向上に寄与している。
	行財政改革に資する成果	
	その他の成果	高齢者や障がい者が住みやすいまちづくりは、行政だけではなく多くの団体・個人の連携・協力の上で成り立っているため、住民同士が支え合い助け合う地域福祉の充実につながっていくと考えている。

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。